



KITCHEN & DINING

キッチンがタカラのII型。コンパクトに収まるため、ダイニングテーブルと横並びに。パントリーに冷蔵庫を隠し、生活感を抑えた

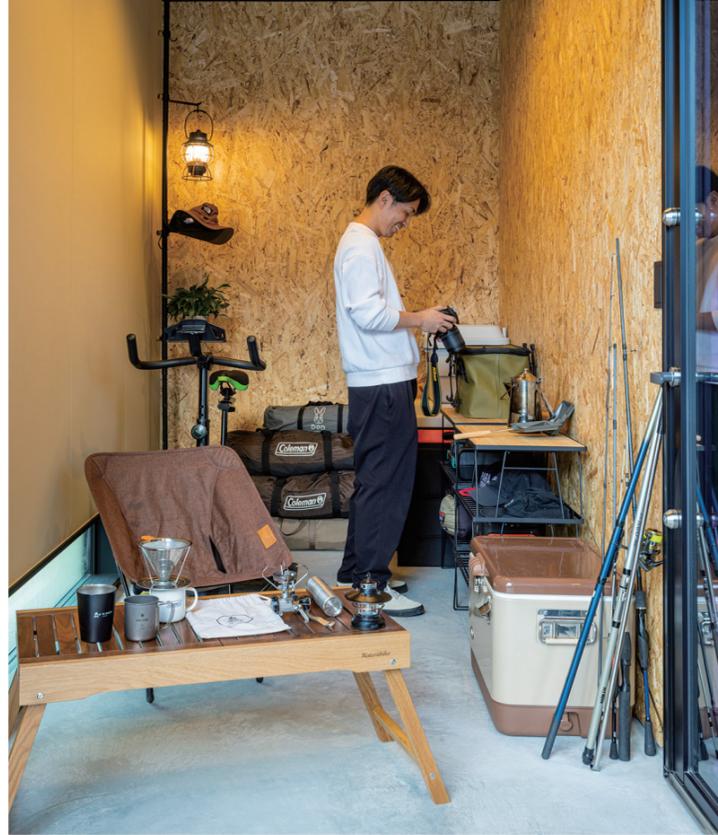


EXTERIOR

ブラックを基調にグレーの壁がアクセントとなった、スタイリッシュな外観。シンボルツリーにはミモザをチョイス

OUTDOOR GARAGE

「芦屋のモデルハウスを見て取り入れた」という約4帖のアウトドア収納。キャンプグッズや釣り道具など、ご主人の趣味のアイテムがずらり



LDK

木目と白、ベージュを基調とした、柔らかな雰囲気のあるLDK。壁掛けテレビのアクセントウォールは、ベージュカラーのモールテックスを採用



左、寝室は小上がり+テラスでホテルのような安らぎ空間に/右、帰宅後すぐ手洗いでできるよう、アイカ工業の造作洗面台は玄関隣に設置



「ゆとり」で豊かに余白のある平家

3LDKにパントリー、ファミクロ、アウトドア収納を備えた平家は、のびやかに暮らしを楽しむゆとりの空間。随所にこだわりが映える、ご夫婦理想の住まいとは。

がちな平屋だからこそ、あえて「余白」や「ゆとり」を残すことで、暮らしののびやかさを大切にしたいという担当者の想いが込められた。

暮らし心地・機能性・デザイン 3拍子が揃ったこだわりの空間

完成した住まいは、まさにテーマと理想そのもの。約22帖のLDKは、吹き抜け感を勾配天井と大きな窓で表現。キッチンにはII型を採用して空間を有効活用し、アーチ型のパントリーでデザイン性と機能性を両立させた。

趣味も満喫できるようにと、玄関横に設けたのが約4帖のアウトドア収納だ。キャンプ用品を広げたり、コーヒーを味わったり、アウトドア好きなご主人がゆとりを感じるスペースとなっている。



結婚から一年半が経ち、「そろそろ自分たちの家を」と動き始めたHさんご夫婦。住宅展示場やモデルハウスを見学する中で出会ったのが、「野坂建設」が手がける芦屋町の『ジャパンディスプレイのモデルハウス』だった。「ダントツで好みのデザインでした」と語るように、外観の佇まいから室内のディテールまで、すべてが2人の感性にフィット。「こんな家を作りたい」と、Hさん夫婦と「野坂建設」の家づくりがスタートした。

理想の我が家について、「平家にしたものの、吹き抜けも欲しい」とイメージを膨らませたご夫婦。そこで打ち合わせを重ねる中で決定したテーマが、「余白のある平屋」だ。一般的にタイトになり

モデルハウスの出会いから理想の家づくりがスタート



キッチンの背面はモルタル調に仕上げ、無機質な質感を取り入れて甘さを抑えた

COMPANY DATA

夢空間 野坂建設株式会社

北九州市若松区高須東3-6-9
0120-947-570
https://nosakakensetsu.co.jp

⇒ 詳しい情報はP122に掲載